



令和元（2019）年度

水稻の生育概況 vol.2



埼玉県マスコット
「コバトン」

（令和元年7月1日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

◎気象概況：6月は平均気温はほぼ平年並み、降水量はかなり多く、日照時間は平年並み。梅雨入りは平年より1日早く6月7日頃となった。

◎生育状況：早期栽培、早植栽培、普通栽培とも平年並の生育となっている。

◎今後取るべき技術対策

- ・水 管 理：早植栽培で中干し未実施のほ場はただちに実施。普通栽培は移植後30～35日を目安に中干しを実施。
- ・穂 肥：生育診断等に基づき、追加の穂肥を検討。
- ・病虫害防除：葉いもち病、フタオビコヤガ（イネアオムシ）に注意。

1 気象の概況

6月の気温は第1、4、6半旬で平年値を上回り、6月平均では平年より0.4℃高かった。降水量は第2、3、5半旬にまとまった降雨があり、月合計では平年の154%となった。日照時間は第3、4半旬を除いて平年より少なかったが、第4半旬の日照時間がかかなり多かったため月合計では平年の107%となった。

2 生育の概況

（1）センター内生育相

ア 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

草丈は6月第2、3半旬の低温の影響でやや低く推移している。莖数は、平年よりも少なめに推移した。移植後60日時点ではほぼ平年並みとなったものの風乾重は少なく軟弱さみである。葉位の進展は平年並みであった。

6月28日時点で幼穂長が0.5mm程度（平年値：1.0mm）であるが、気象庁の確率予測資料での今後1か月の気温がやや低い予想であるため出穂期は平年（7月25日前後）より、やや遅れると予想される。

イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

草丈は6月第2、3半旬の低温の影響でやや低く推移している。莖数は、6月前半の寡照で発生が遅れたが、第4半旬の高温多照で発生が促進され、移植後40日時点では平年比112%と多くなっているものの風乾重は少なく軟弱さみである。葉位の進展は平年並みであった。

ウ 普通栽培（6月25日植 彩のきずな）

育苗期間前半が低温寡照で推移した影響で、草丈のやや低い苗となった。活

着は良好である。

(2) 県内全般

早期栽培では、生育は草丈が低く、分けつが遅発ぎみで軟弱な生育をしている。幼穂の分化はほぼ平年並である。

早植栽培の生育は、降雨のため中干しが弱めとなり分けつの切れ上がりが悪く、日照も少ないことから軟弱気味の生育となった。

普通栽培の田植作業は、概ね平年並の6月末に終了した。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

気象庁が7月4日に発表した1か月予報では、平年に比べ曇りや雨の日が多く、気温はやや低い見込みである。

平均気温は、低い確率が60%、並が30%、降水量は、多い確率が40%、並が40%、日照時間は、少ない確率が40%、並が40%である。

また、6月25日発表の3か月予報では、7月は平年に比べ曇りや雨の日が多く、8月は平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並の確率が40%。9月の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並または高い確率ともに40%である。

(2) 生育予測

ア 早期栽培

7月8日現在の2週間予報では今後10日程度気温の低い日が多いことから、出穂期は平年並みからやや遅れるものと予想される。

イ 早植栽培

気温がやや低く、降雨も続くと予報されていることから、分けつの切れ上がりや葉色の低下が遅れ、軟弱ぎみに推移するものと予想される。

ウ 普通栽培

気温は7月後半以降平年並みになると予報されていることから、生育初期にやや遅れぎみでも回復し、平年並みに推移するものと予想される。

4 今後取るべき技術対策

病虫害防除所の発生予報では葉いもち病の発生予測は「やや多」、フタオビコヤガ（イネアオムシ）の発生時期は「やや早」であることから病虫害の早期防除に心がける。

(1) 早期、早植栽培

ア 水管理

早植栽培で中干しを実施していないほ場では直ちに実施し、無効茎の発生を抑える。中干し後～幼穂形成期までは間断かん水を励行し、無効茎の抑制

と根の活力維持に努める。出穂7日前～出穂7日後までは深水管理とする。
なお、早期栽培は穂ばらみ期であり、低温の影響を受けやすいので最低気温20度以下の予報が出た場合、深水管理を行う。

イ 穂肥

適期を逃さぬよう幼穂長、葉色等の診断結果に基づき穂肥を施用する。
基肥で緩効性肥料を施用している場合でも、穂肥時期に葉色を見て穂肥を検討する。
彩のかがやきでは、適期（出穂前22～23日頃 幼穂長1～2mm）に葉色が4以下の場合は窒素成分3kg/10aを限度に穂肥を施用する。
葉色が4以上の場合は低下するまで施用時期を遅らせ、窒素成分2kg/10a程度に減ずる。
また、出穂前10日頃に葉色を確認し、葉色が4以下の場合は2kg/10程度を追加施用する。

ウ 病害虫防除

病害虫防除所の6月26日発表の発生予報では、紋枯病は、前年の発生量が多く、1か月予報によれば気温は平年並、降水量は平年並または多いため発生が助長されると予想されており、早期防除を心がける。
また、葉いもち病は感染好適日の出現日数は平年並みであるものの発生時期は平年より早いことから、紋枯同様に早期防除を心がける。
フタオビコヤガ（イネアオムシ）は6月24日現在の有効積算温度による第二世代成虫発蛾最盛期は平年より4日早く、1か月予報から発生は助長されると予想しているため、「イネアオムシ発育予想」を参考に、必ず第三世代幼虫の防除に心がける。

(2) 普通栽培

ア 水管理

移植後30～35日を目安に、有効茎を確保したら速やかに小ひびが入る程度に中干しを実施する。

イ 穂肥

彩のかがやきでは、適期（出穂前25日頃 幼穂長0.5～1mm）に葉色が4以下の場合は窒素成分3kg/10aを限度に穂肥を施用する。
葉色が4以上の場合は低下するまで施用時期を遅らせ、窒素成分2kg/10a程度に減ずる。
また、出穂前10日頃に葉色を確認し、葉色が4以下の場合は2kg/10程度を追加施用する。

ウ 病害虫防除

早期、早植栽培同様、葉いもち病とイネアオムシに注意する。

エ 雑草防除

雑草が多発した場合は、草種に合わせた除草剤（中期、後期剤）の適期散布を行う。用水量が少なく、湛水が維持できない場合は、中干し時期に合わせて落水茎葉処理タイプの除草剤を使用する。

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷气象台日別測定値から集計）

6月											
半 旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	23.1	20.6	28.0	26.1	18.9	16.0	0.0	17.1	27.6	28.5	
2	20.5	21.0	24.6	26.2	17.4	16.7	98.0	20.1	13.5	25.1	
3	19.9	21.4	25.3	26.3	16.1	17.5	43.0	25.7	24.1	21.6	
4	23.6	21.9	29.6	26.4	18.9	18.2	4.5	29.2	42.9	18.8	
5	21.7	22.3	26.0	26.6	18.7	18.9	63.5	28.8	11.2	16.2	
6	23.7	22.9	27.7	27.1	20.4	19.4	15.5	27.8	15.1	16.2	
平均	22.1	21.7	26.9	26.4	18.4	17.8	合計 224.5	145.4	134.4	125.5	

注) 半旬数値は熊谷地方气象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は气象台値

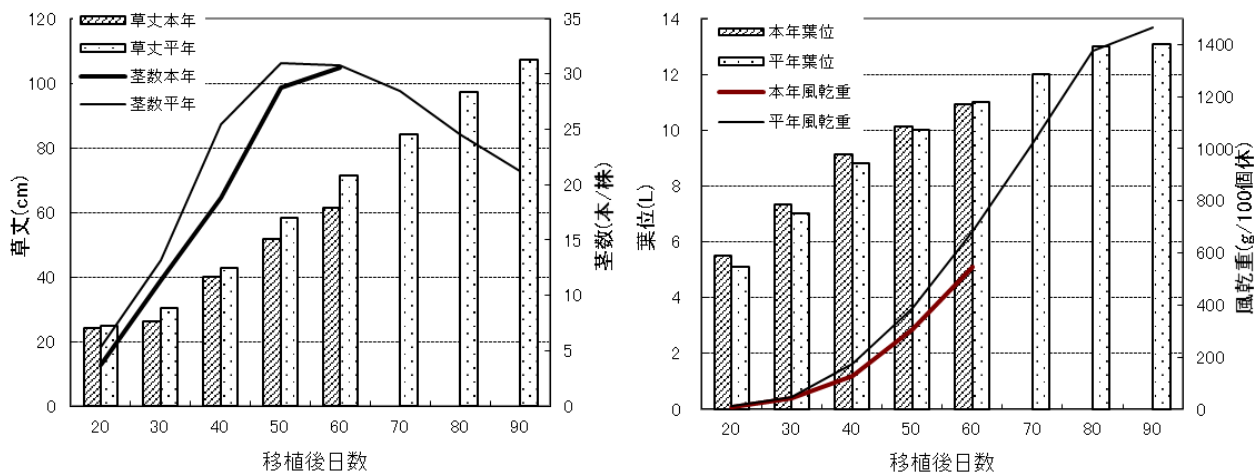
2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
40	40.0	42.7	94	18.8	25.4	74	9.2	8.8	0.3	126.6	172.8	73
50	51.8	58.4	89	28.8	31.0	93	10.2	10.0	0.2	308.1	390.6	79
60	61.3	71.3	86	30.6	30.8	99	10.9	11.0	-0.1	546.7	683.1	80

注) 平年値は平成11年～30年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(2) 生育経過



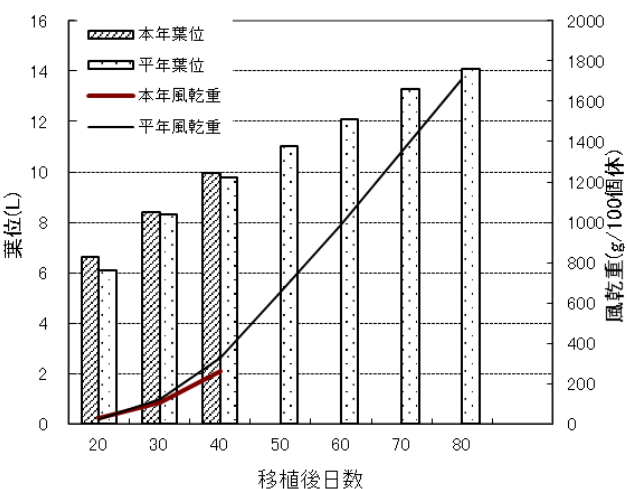
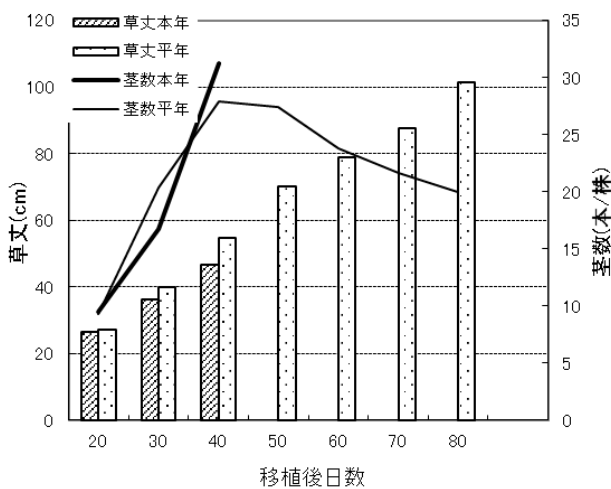
3 早植栽培（5月21日植 彩のかがやき）

（1）本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	26.4	27.1	98	9.5	9.3	102	6.6	6.1	0.5	27.5	25.5	108
30	36.4	40.0	91	16.8	20.4	82	8.4	8.3	0.1	105.6	123.3	86
40	46.6	54.8	85	31.3	27.9	112	10.0	9.8	0.2	264.7	330.3	80

注) 平年値は平成11年～30年の平均(H22を除く)。 平年比は%

（2）生育経過

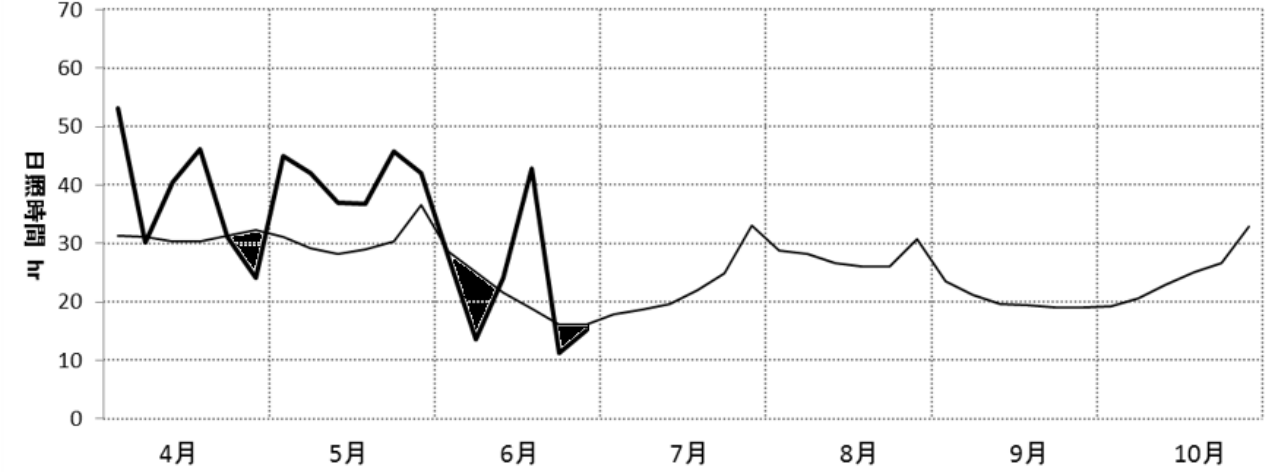
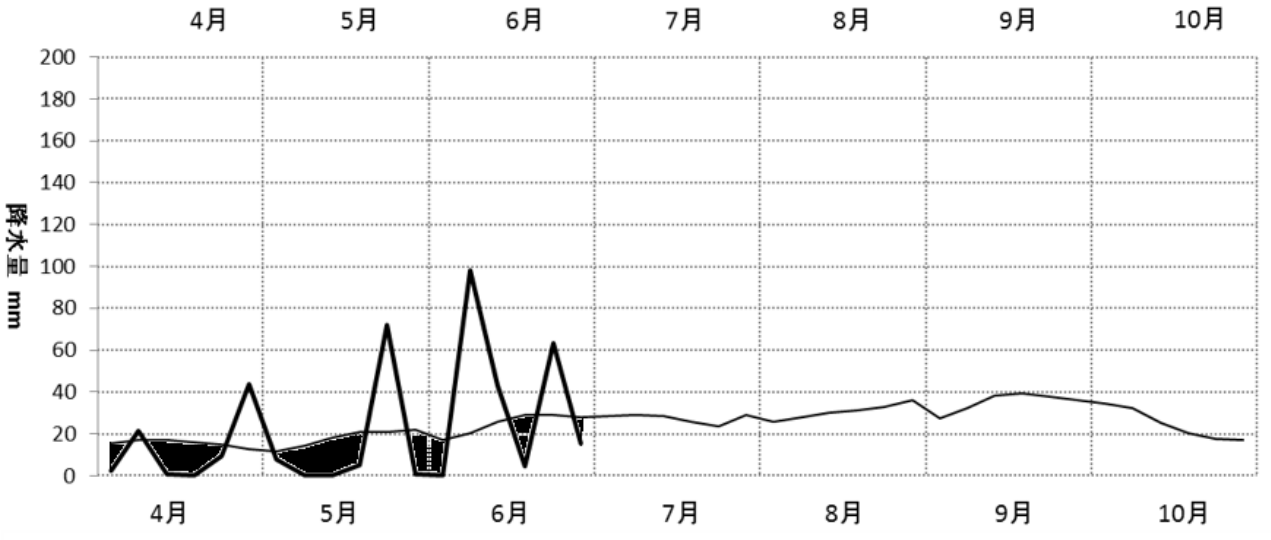
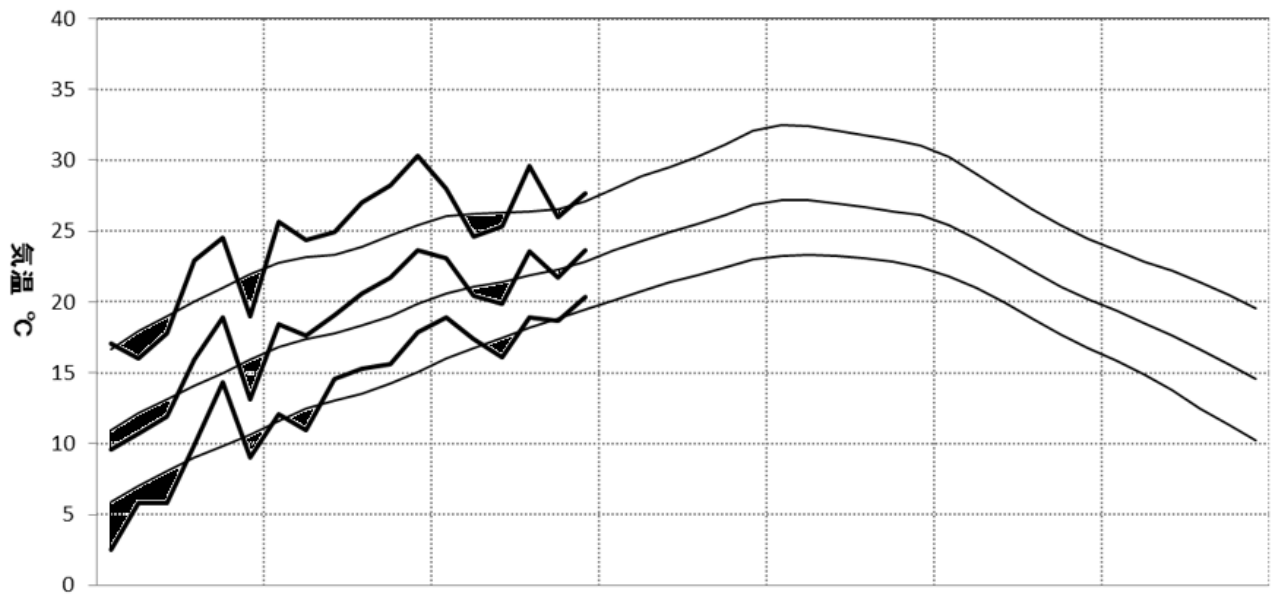


4 普通栽培（6月25日植 彩のきずな）

（1）苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
13.6	17.3	79	3.2	3.7	-0.5	2.75	3.10	89	2.02	1.79	0.23

注) 平年値は平成27年～30年の平均。 平年比は%



令和元年夏作期間気象図
 (熊谷气象台日別測定値から作成)